

わたなべ 栄一

新聞・かわら版

Vol.15



えいいち
わたなべ 栄一

無所属 65歳

糸魚川市議会議員（1期）

・議会運営委員会 委員

・総務文教常任委員会 委員

わたなべ 栄一の活動報告 ～活力あるまちづくりに向けて～

糸魚川市の総人口
R7.2月1日現在 37,909人
(-211人/R6年11月より減、)
(前年同月より-850人減)

街おこしは待ったなし！ しがらみのない わたなべ 栄一

R6.12月2日(月)～R6.12月19日(木)の日程で第4回市議会定例会が開催されました。行政当局に質した一般質問の一部をご報告いたします。

■観光産業への活性化策について

糸魚川市観光統計(令和5年度版)によると、令和5年度観光客の入り込み状況は、総数が190万9,550人(対前年比109.3%、16万2,890人増)で、新型コロナウイルス感染症拡大が落ち着き始め、感染症法上の位置づけが5類感染症となり、各地でイベントが再開するなど観光需要が回復し、同感染症拡大前(R元年度総数、217万7,480人)の約88%まで回復したとあります。市長答弁では、観光客や鉄道利用者は増加しており、人の流れはコロナ禍前の状況に戻りつつあると感じているとの回答でした。今後、本格的なウインターシーズンをむかえて、白馬エリアの増便バスの利用や国内外から約2,820万人の来場者を想定している大阪・関西万博(R7.4月13日～10月13日開催)に來られるインバウンドの方や国内の方も含めて、北陸新幹線を活用して当市に來てもらえるような施策や、万博会場内の「静けさの森」にヒスイ2石(当市産)を展示し、新たなPR手法も県と一緒に考えて行きたいと担当課長より回答がありました。

■農業を取り巻く環境について

当市の自然環境を生かした、農業のブランド化が進む可能性があり、地元産品を高付加価値化し、都市部への販路を拡大する取組が重要と思われる。しかし、一方では、耕作条件の悪い農地では、新たな担い手が見つからない場合や耕作者の高齢化が顕著になっている。そこで、後継者不足や効率化の課題解決に寄与するとされるスマート農業の課題や農業所得を上げるにはどのようなことが有効かの問いに市長は、圃場等の基盤整備が課題であると捉え、農産物の高付加価値化と併せて、農地の基盤整備を契機に、生産コストの縮減が有効と考える回答。また、担当課長からは、水稻以外の園芸作物について、徐々にではあるが、エダマメや越の丸茄子の生産量が増えるなどしており、今後も園芸作物の推進に努めていきたいとの回答でした。他に、食品卸の会社等と食を通じた地域活性化に関する連携協定というのにも必要になると考えます。

■その他の質問

1. (仮称)「駅北子育て支援複合施設」の建設予定地にある旧東北電力ビルの解体工事は、4回目の入札結果も不調。今後の展開は？
2. 糸魚川総合病院に対して、今後どのような支援を行っていくのか？
3. 人口減少と高齢化が課題となっているが、当市の人口減少対策プロジェクトは、どのような提言を考えているのか？

4. 高等学校卒業後の進路として、市内に専門学校等の設立が切望されるが、見通しは？
 5. 今冬は、降雪量が多いとの予報であるが、消雪パイプの不具合は解消されているか？
 6. 今後、政府も物価高騰や光熱費等を緩和させる政策を行う予定のようだが、市としての考えはあるか？
1. 現在、検討中であると市長の答弁でしたが、担当課長より、解体工期に約16か月かかり、令和7年2月上旬までに事業者が決まれば、予定の令和10年4月の供用開始になると回答。また、不調の要因については、人件費や資材費等が高騰しているためなのかの問いには、様々な理由が考えられるが、明確に答えできるものはないとの回答でした。解体工事費予算の上限枠は、9,800万円ですが、出生数(R5.130人)が減り続けている上に、運営費も年間5,000万円円で収まるとはとても考えられず、同施設計画には、従来より反対しています。
 2. 市長は、医療従事者の離職を防ぎ、安定した医療体制の確保を図るため、緊急的に支援を行いたい旨の答弁であり、その通りであると思います。
 3. 現在取り組んでいる事業の分析や先進事例の調査などを行い、新年度の事業展開に向けて検討を進めていると市長は回答。担当課長からは、具体的には、中・高校生の保護者アンケートの実施や女性活躍推進企業の取組研究、先進事例では、マッチングアプリ事業について調査しており、これらの取組をまとめて、次年度予算に向けて反映できるものはしていきたいと回答がありました。
 4. 看護師養成所等の設立に向け、検討しているが、実現は難しい状況であると以前から同じ内容の市長答弁でしたが、任期中の中で精いっぱい取組を進めていきたい旨の回答もありました。
 - 5, 6. 冬期前点検を実施し、不具合箇所を修繕している。また、不具合が生じた場合は、速やかに対応していくことや、物価高対策等については、国の情報を注視し、必要な事業に取り組んでいくとの市長答弁でした。

わたなべ 栄一 ホームページ

日常の活動の様子などを掲載していきます。
ぜひ、ご覧ください。

<https://www.watanabe-eiichi.24lib.com>



◀ QRコードを
読み取って
ご覧ください

年末年始・ふるさとイベント～ 翁舞式_消防出初式_さいの神_青海・竹のからかい_藤崎・胴上げ～

■ 昨年12月1日(日)、新町地区に江戸時代から伝わる市指定無形民俗文化財「新町翁舞式」がありました。国や地域の祝事に合わせて不定期に開催され、今回の特別公演は、5年ぶりとのことで、伝統・継承の大切さを感じました。高校魅力化オリジナル探究「推しグルメ開発プロジェクト」報告会(26日)では、郷土料理の一つである笹寿司を若い感性で考えて開発し、作った250本は1時間足らずで完売。学びとして、消費者目線になることとあり、とても高校生とは思えない頼もしさを感じました。



■ 1月は、新年恒例である「糸魚川市消防出初式」が行われ(12日)、昨年は地震による災害対応のため、中止となり、2年ぶりの開催となりました。また、各地区(新町、越、谷根、湯川内、新道、高谷根、百川)では、「さいの神」行事等があり、能生_百川では10年ぶりに行われ、少子化が起因している現実を突き付けられましたが、伝統行事を続けてほしいと願うばかりです。さらに、昨年に続いて「青海の竹のからかい」(15日)や「藤崎観音堂裸胴上げ」(17日)は、非常に迫力があり、力が入りました。



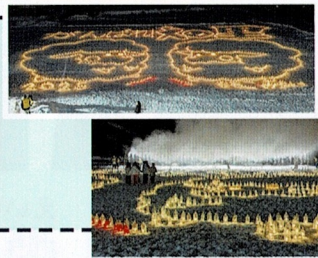
➤ focus = 焦点 議案第103号、「令和6年度一般会計補正予算(第4号) 8億5千889万円」の内容は？

12月19日(木)、本会議最終日に令和6年度 糸魚川市一般会計補正予算(第4号)について、主に3つの項目理由から賛成の立場で討論を行いました。① 衛生費の医療人材確保対策事業の1,200万円は、JA 新潟厚生連の経営状況の悪化を受けて、同厚生連が運営する糸魚川総合病院に対して、状況改善に向けた経営改革を進める同病院に対して、病院の先行き不安による医療従事者の離職を防ぎ、安定的な医療体制の維持につなげるため、緊急的な対応として市独自の予算措置を講じました。同対策事業費の当初予算 約1億4,000万円に緊急支援補助金としての追加は、市が県に対する支援の働きかけや厚生連の経営計画の作り直しを確認しながら、その間の必要な支援策として、やむを得ない判断措置であると思います。12月2日(月)のヒスイ王国館で行われた「糸魚川総合病院の現在地と将来の姿」の公開

講演会の講話の中で、病院長より、今年は、1億円の黒字だが、来年は給与を戻すため、再び赤字になってしまうような発言がありました。市の公金を増額投入していくことに、限界も生じてくるため、JA新潟厚生連の経営改革を前提に、国や県に対し、緊急の財政支援、地方財政措置の拡充等について要望し、地域医療の中核を担う糸魚川総合病院の存続を図ってほしいと思います。次に、② 土木費の道路除排雪費の除排雪委託料の4億8,000万円の増額は、今冬は降雪量が多いとの予報や雪道での安全確保、心が折れるような豪雪への不安を払拭させるために必要な予算と考えます。③ その他、生活保護世帯における生活保護扶助費 8,000万円、能登半島地震により被災した大平寺地内の能生川左岸について、法面保護工事費 7,200万円等々は、緊急性が高いものと判断しました。

一年で最も寒く厳しい季節となりました。今冬は、降雪量が多いとの予報でしたが、今月に入って本格的な降りとなりました。暦の上では春なので、早く暖かくならないものか、本当の春が待ち遠しく思います。さて、約4年間続けてきた活動報告は、今回で15回目となりましたが、継続できたことは良かったと思っています。今月1日(土)、「上南ふれ愛キャンドル祭り」に初めて行きました。地域が元氣

になるようにと始まったとお聞きしましたが、デザインには小学校で大切に飼っていた羊への思いや地元力士への応援など、子どもたちの純粋な想いが込められていることに感銘を受けました。市政に関して皆様の日頃お感じになった疑問やご意見をお寄せください。ご負担を強いることはなく、匿名でも構いません。どうぞよろしくお願いいたします。



■議員報酬：わたなべ栄一のケース

※日当は1,400円/1日、車賃は350円/1日ですが、本人が出席した委員会等が必ずしも日当の対象となるものではなく、日数と金額は一致いたしません。

	支給額	所得税	※親睦会	委員会積立	控除総額	差引支給額	日数	※日当	車賃	費用弁償計	総支給額計
24.1月～10月_報酬	3,595,455	717,243	24,530	100,000	841,773	2,753,682	54	75,700	18,900	94,600	2,848,282
24.11 報酬_11/21	301,000	53,700	500	10,000	64,200	236,800	5	8,200	1,750	9,950	246,750
24.12 期末_12/10	623,070	190,845			190,845	432,225					432,225
24.12 報酬_12/20	301,000	53,700	24,000	10,000	87,700	213,300	2	2,800	700	3,500	216,800
R6年度_合計額	4,820,525	1,015,488	49,030	120,000	1,184,518	3,636,007	61	86,700	21,350	108,050	3,744,057

※12月_期末手当の計算は、月額 301,000×1.8ヵ月分=541,800
541,800×15%=81,270(15%は当市条例に基づき手当)
541,800+81,270=623,070円

※11月 日当内訳: 11/8 朝日町へ2,700円、11/14 小谷村へ2,700円ともに県外1日
※12月 親睦会内訳: 11/8 朝日町協議会会費7,000円、11/14 小谷村・白馬村協議会
会費 10,000円、11/15 上越三市議会議員会合研修会会費 6,500円

■第1回市議会定例会は、
2/17(月)～3/14(金)
の26日間の予定です。

あなたの声を わたなべ栄一へ

■市政に関するご意見、ご要望等がありましたらお寄せください。

住所：〒941-0026 糸魚川市大字田屋634番地
TEL/FAX：025-555-3697(サロクナン) 携帯：090-9836-5234

E-mail：w.watanabe3697@outlook.jp

E-mail：w.watanabe3697@gmail.com